

輸送動向について（平成23年度上半期）

平成23年10月

1. 輸送概況

3月11日に発生した東日本大震災により各地で寸断された東北線は4月21日に全線が開通したものの、常磐線は津波被害に加え、一部が福島第一原子力発電所事故の警戒区域に含まれていることから復旧の目処はたっていない。また、各地の大雨及び大型の台風12号、15号上陸に伴う輸送障害により、上期全体では高速貨3,684本、専貨197本（内、東日本大震災に伴う運休は高速貨2,337本、専貨128本）が運休した（前年同期間は、高速貨502本、専貨6本が運休）。

荷動きについては、震災に伴う線路の寸断に加え、製造業各社の操業停止及びサプライチェーンの寸断による生産低迷の影響を強く受けるとともに、大雨等の自然災害により安定輸送が大きく妨げられたことから、全体を通して大きく前年を下回った。

コンテナ貨物については、震災により東北の生産拠点が被災した紙・パルプ、食料工業品をはじめ全ての品目が前年を下回り、全体では前年比89.4%となった。

車扱貨物は、石油をはじめ全ての品目が前年を下回り、全体では前年比90.0%となった。石油は製油所の被災及び震災直後の東北線の不通に加え、燃料の価格高騰に伴う需要減が重なり大幅に減送となった。なお、仙台の製油所の被災を受けて実施している関東発東北向けの石油輸送は、現在も継続している。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別	上半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	9,223	10,317	89.4%
車扱	4,228	4,696	90.0%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	734	806	-72	91.1%
	化学工業品	913	1,015	-102	90.0%
	化学薬品	696	755	-59	92.2%
	食料工業品	1,541	1,682	-141	91.6%
	紙・パルプ	1,200	1,581	-381	75.9%
	他工業品	727	804	-77	90.4%
	積合せ貨物	972	1,061	-89	91.6%
	自動車部品	373	413	-40	90.3%
	家電・情報機器	226	242	-16	93.4%
	エコ関連物資	159	172	-13	92.4%
	その他	1,682	1,787	-105	94.1%
	コンテナ計	9,223	10,317	-1,094	89.4%
車扱	石油	2,826	3,078	-252	91.8%
	セメント・石灰石	585	621	-36	94.2%
	車両	372	470	-98	79.2%
	その他	447	527	-80	84.8%
	車扱計	4,228	4,696	-468	90.0%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）